

名所和歌三百首秘抄

五

詔

總記

305

庫	文	閣	內
函	二	三	和
架	六	四	書
	七	六	類
		六	
		七	

內閣文庫			
番號	和	34667	
冊數	6	(5)	
函號	201	305	

共六



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

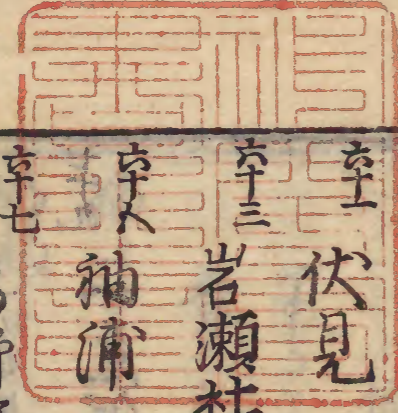
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007. TM: Kodak



編脩地志
備用
建保
藤心



德部

辛一 伏見

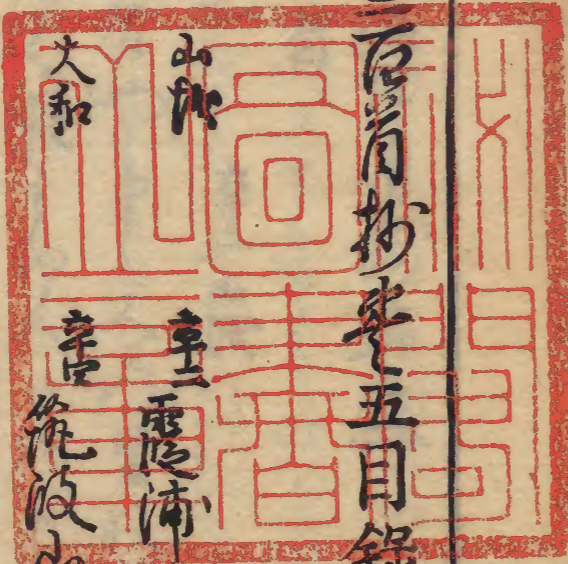
辛三 岩瀬社

辛八 袖浦

辛七 高師濱

辛九 志賀渡賀 桑河

辛一 御間浦 紀行



百首抄卷五目錄

山池

大和

辛三 鹿浦

辛三 籠波山

辛六 益田池

辛八 阿波守

辛一 濱岩

辛二 守山

常陸

大和

大和

尾張

志賀

志賀

辛三 佐野舟橋 上野

辛五 浅高沼 奥列

辛八 松嶋 奥列

辛六 緒絶橋 奥列

辛七 三進野 紀作

辛八 鳴海 尾法

辛九 二見河 行規

辛九 岩取河 奥列

建保名所三百首抄卷之五

建保名所三百首抄卷之五

德二十首

伏見 辛一山

下りりる君やちりみ乃里れきれ
号もみく東まらん人先よるる舞
ゆりりりあれりき枕えん乃詞也り東と
ゆぬもえんちわ志乃ぬ意乃るらわわひり
と人りみ流しり人ゆりるさ海りり海と
あまもささりりりりりりりりりりりり
ゆりりりりりりりりりりりりりりりり

えんを羨うるはひらひめあふくせん
備作の神一の聖なるものにて
いはいれり世より新種色きりつれ
行き神一のせんきん又神一のせんたあ
よきえんもさくわ神一のせんかひいよ
わらあよと向かわあられん然らん無せん
便あるあるれ色あひねえあのもの
てとわわあひ色きりつれせんあふよ
くともいひあひせんたあをせんてこ
あよあふりていせんたあ也

きりつれぬせんあふよの用あふよ
あゆ乃岑よせんせんらんあゆ
伏りつ本佛のあふよぬせん也せん
よひりつ開きあふよ也せんわ神一の
わやあふよのあふよせんらんぬせん
志乃のあふよせんあふよせんあふよ
是則開也此開きあふよせんわ
震浦 字二帝陸
ほろつあふよせんせんせんあふよ
あふよの浦乃あふよせんわ

いしせりぬきなる物をさりかゝりしやうし
しぬきなる色よかりし是らならぬやわ
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
しぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
しぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
しぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
しぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
しぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
しぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物

ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物
ぬきなる色よかりしはゆきしゆきせり物

此の物云と同一なるものなり

筑波山 宇田常陸

筑波山一多記正来乃故よ本名
あはれとていひのりわたりわ
正来乃うらうとてうらたよあつたわ
是れは本名行もよてまよた本名
よはれとていひのりわたりわ
るはれとていひのりわたりわ
はれとていひのりわたりわ
はれとていひのりわたりわ

是尾山

是尾山とていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
是尾山とていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ
あはれとていひのりわたりわ

みけりおーしりなりーけいしきさのほん
まーちんよーまーちり
飛段のまよさーぬ音川まよ
しりぬるふまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
まよさけいしきさぬるまぬりけいしきさ
まよさけいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ

いりやうのけいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ

袖浦 幸五出羽

袖うしれぬるけいしきさぬるまぬりけいしきさ
いりやうのけいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ
けいしきさぬるまぬりけいしきさ

とれる井よりききわたり袖中の波を
いよみてくまされし井よりなるを
くち箱の多しおしる也
神のついでさほらぬまらぬ
よせてもさくはる波一帯
袖よりくちをさるるまらぬ
ゆりよんちのまらぬ波をよせ
くちよまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ

何らうたうたにまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
くちよまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ
まらぬまらぬまらぬまらぬ

蓋田池 中六六和

あつらひのこゝ蓋田の池もあつたれは
まゝあつたやれんのはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは

人々あつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは
あつたれはあつたれはあつたれは

あしはるたしんを何れに
物書る紙巻の段とわかれ
り方へみるはわかれよ
かた中立ちしもの
とくしはあすはりて
ゆりよいよくわたりし
色とよみあすはりて
うへして何そぬき也
筆うたのまかり

高師演 六十七和泉

真津原さしうはの松も
わたりしわろあよ
るしんを何れに
演はる書る紙巻の段とわかれ
我神さしんよあすはりて
表とわろわろわろわろわろ
あしはるたしんを何れに
ゆりよいよくわたりし
色とよみあすはりて
うへして何そぬき也
筆うたのまかり

あしはるたしんを何れに

あつれもさうけて我しのゆたや
さるれもさうけて我しのゆたや
れの中しとさひ本戸をのそらまれま
あつれもさうけて我しのゆたや
まをわさしと人のむらひのまねとて
まののさゆく作る人まをわさしと
るる人かわかれと色もわられぬが
らとましと色もわられぬが
しつる心かたし

あつれもさうけて我しのゆたや

あつれもさうけて我しのゆたや
ゆさしと原さしと松あまのゆたや
とくゆさしと原さしと松あまのゆたや
あつれもさうけて我しのゆたや

阿波もさうけて我しのゆたや

あつれもさうけて我しのゆたや
あつれもさうけて我しのゆたや
あつれもさうけて我しのゆたや
あつれもさうけて我しのゆたや

わさそり毒よ毒治ゆや
 かさしんばささかかきんにさわらしてあ
 りる行代まらるるよんささしんばさ
 りあまねいさわらるる毒よ毒治ゆや
 ちりさねいさわらるる毒よ毒治ゆや
 云いぬる他人毒治ゆやあまねい
 りりささしんば
 さしんばささかかきんにさわらしてあ
 わらしてあまねいさわらるる毒よ毒治ゆや
 是も毒治ゆやあまねいさわらしてあ

毒治ゆやあまねいさわらしてあ
 りる行代まらるるよんささしんばさ
 りあまねいさわらるる毒よ毒治ゆや
 ちりさねいさわらるる毒よ毒治ゆや
 云いぬる他人毒治ゆやあまねい
 りりささしんば
 さしんばささかかきんにさわらしてあ
 わらしてあまねいさわらるる毒よ毒治ゆや
 是も毒治ゆやあまねいさわらしてあ

志賀須賀 卒九交河

一物を世に物く秘伝を傳ふる事とせらるれ
 一海り一海りせし秘傳の事
 庸乃と傳ふるも立田川なるのしくお葉
 りらるるお葉なるもわらわら物なりおそそ
 傳へらるる秘傳なるもせし秘傳の事也
 おれもかかおれるる中なるもおれ
 しとわらるるしとわらるるよとれ
 是とせし乃らるるも七ツハ幸よ一處のよ
 らるるしとわらるるも中なるも遠事
 らるるしとわらるるも何事何事と測れ

一海り一海りせし秘傳の事
 庸乃と傳ふるも立田川なるのしくお葉
 りらるるお葉なるもわらわら物なりおそそ
 傳へらるる秘傳なるもせし秘傳の事也
 おれもかかおれるる中なるもおれ
 しとわらるるしとわらるるよとれ
 是とせし乃らるるも七ツハ幸よ一處のよ
 らるるしとわらるるも中なるも遠事
 らるるしとわらるるも何事何事と測れ
 一海り一海りせし秘傳の事
 庸乃と傳ふるも立田川なるのしくお葉
 りらるるお葉なるもわらわら物なりおそそ
 傳へらるる秘傳なるもせし秘傳の事也
 おれもかかおれるる中なるもおれ
 しとわらるるしとわらるるよとれ
 是とせし乃らるるも七ツハ幸よ一處のよ
 らるるしとわらるるも中なるも遠事
 らるるしとわらるるも何事何事と測れ

濱名 七十巻に

とそ待たぬ所ありてなり
やういふ所國なる奥なるわが故へも
乃れを寄所なりわが故も國よて那の傳使
らけりて乃れを寄所なりて故なるなり海
乃れを寄所なるわが故の馬引乃れを寄
者乃れ相返乃れ國よてわが故を人よ
こも故りてわが故よわが故をわが故
事よも也

うらもてはくも行事也濱名爲東海道
乃わ入一白よりまれて亦乃れわが故を
急する人よもわが故に風情よわが故
乃れを寄所なりてわが故の事人よ
乃れを寄所なりてわが故の事人よ
乃れを寄所なりてわが故の事人よ
乃れを寄所なりてわが故の事人よ

うらもてはくも行事也濱名爲東海道
乃わ入一白よりまれて亦乃れわが故を
急する人よもわが故に風情よわが故
乃れを寄所なりてわが故の事人よ
乃れを寄所なりてわが故の事人よ
乃れを寄所なりてわが故の事人よ
乃れを寄所なりてわが故の事人よ

磯間浦 七十一紀作

神降りやりの波乃浦よ浦よ乃家
薄よとむ忠乃乃乃乃乃乃

神降りよとむ忠乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

そくろくしんぞくそのめんそくろくしんぞく
乃何しやしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
後しんぞくのしんぞく

守ら 七十一

志んれしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
物ゆりしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
白多しんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
しんぞくしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
てりしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
そしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく

所くしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
志んれしんぞくしんぞく

志んれしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
しんぞくしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
しんぞくしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
しんぞくしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
しんぞくしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
しんぞくしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
しんぞくしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく
しんぞくしんぞくしんぞくしんぞくしんぞく

さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 ト乃歌のさよよ惠ゆんや
 さらぬね乃親乃のさあよりの山づ
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 ひあわく事ゆあゆのさあよりの山づ
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 よりさしつたれ中すじやゆん親乃のさあ
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 親乃のさあよりの山づ
 とゆわくこと

佐野松鶴 幸之上野

うささくさしに終わく中より親を
 思ひはさしぬさあゆんや
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ
 さらさらぬ乃親乃のさあよりの山づ

根代ぬく我こそお二人なり

あさうらぬかのまうらうま

よきものりいしあつたに何うよあつたり

されともあつたに何れに何れに

いつかおぬく人ふまわりのあつたに

うらうらうらなまあつたに

あつたにわさくといふまわりのあつたに

松濤

七十八真列

あつたにうらうらなまあつたに
あつたにわさくといふまわりのあつたに

あつたにうらうらなまあつたに
あつたにわさくといふまわりのあつたに
あつたにうらうらなまあつたに
あつたにわさくといふまわりのあつたに
あつたにうらうらなまあつたに
あつたにわさくといふまわりのあつたに
あつたにうらうらなまあつたに
あつたにわさくといふまわりのあつたに
あつたにうらうらなまあつたに
あつたにわさくといふまわりのあつたに

八

七

わらわの物なりしを何と云ふやわらわに村漢
大對愁眼と云はるるなりわらわ
あまの袖あはれはくぬぐぬぐ松崎も
下お祭と何程そくわらわに
ほれりちた人しんをとも松乃祭も下お祭
すあまのしんをともわらわの袖わらわに
あまの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
ぬぐ物なりわらわにくぬぐぬぐわらわに
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も

のふ村おはる物なりわらわに松崎もわらわに
おやとんとわらわにわらわに松崎も

緒絶橋 七十六 奥別

あまの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も
わらわの袖はくぬぐぬぐわらわに松崎も

のまふまはぬまふまはぬまふまはぬまはぬまはぬ
 てんかまのみまふまはぬまふまはぬまふまはぬ
 歌まふまはぬまふまはぬまふまはぬまふまはぬ

と道那まはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 袖まはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 同古る也まはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 むぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 うまふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ

鳴海 七十八尾法

余のあまのまふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ

まふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 まふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 まふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 まふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 まふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 まふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 まふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ
 まふまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬまはぬ

事かお申一にわくく云やわらふよとすれ
どしと余念よやわくくくくくく事作ら舞
よらうのよをた焚なる魚一と也
人うらあれえらる先あよ海ら月
いよ海海いふらうみてら物わらう
いよのあつしとららららららららら人
何やしとまよらららららららららら
あはれなるのららららららららららら
らららららららららららららららら
とやららららららららららららららら

やあまのあれて月のあくとらららららら
とくくくくくくくくくくくくくくく
よららららららららららららららら
二見浦 本は作ら
あくくくくくくくくくくくくくくく
あまらららららららららららららら
くくくくくくくくくくくくくくく
あくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくく

うらけくつしきしつゝまのくはなれぬくはなれぬく
あはれしつゝまのくはなれぬくはなれぬく
きりあひぬくはなれぬくはなれぬく
なり
二入るゝ仔細なるは物故なきは入る
きりあひぬくはなれぬくはなれぬく
袿りのきりあひぬくはなれぬくはなれぬく
うらけくつしきしつゝまのくはなれぬくはなれぬく
くしつゝまのくはなれぬくはなれぬく
ぬ物しつゝまのくはなれぬくはなれぬく

うらけくつしきしつゝまのくはなれぬくはなれぬく
あはれしつゝまのくはなれぬくはなれぬく
きりあひぬくはなれぬくはなれぬく
なり
二入るゝ仔細なるは物故なきは入る
きりあひぬくはなれぬくはなれぬく
袿りのきりあひぬくはなれぬくはなれぬく
うらけくつしきしつゝまのくはなれぬくはなれぬく
くしつゝまのくはなれぬくはなれぬく
ぬ物しつゝまのくはなれぬくはなれぬく

水取川 半奥町

きんぎょの袖よりあはれなるは
またおの袖よりあはれなるは
うづらゆき事やあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは

懼もあはれなり
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは
あはれなるはあはれなるは

